

お知らせ

原子力災害避難対策検討会 受入体制部会研修会を開催しました

ワークショップ 「東日本大震災・ふくしまの教訓を生かした シミュレーションゲーム『さすけなぶる』」

「さすけなぶる」とは…「ビッグパレットふくしま避難所」をはじめとする東日本大震災における福島県内の大規模避難所運営の教訓を生かして、避難所運営に関わる可能性のある人に、広域災害時に避難所で起こりうる状況を理解し、想定外の事態に対しても、柔軟な対応の視点を身につけることを目的とした意思決定シミュレーションゲーム

- 「さ」りげなく 被災者の声に耳を傾け、生活環境の改善を進めよう。
(声には「大きな声」と「小さな声」があることを忘れずに)
- 「す」ばやく 被災者の生活(暮らし)実態や課題をしっかり把握しよう。
(時間経過によるニーズ変化があることを忘れずに)
- 「け」むたがらず 被災者同士、被災者と支援者等が交流できる場をつくろう。
(主体は被災者であることを忘れずに)
- 「な」いものねだりをやめて 地域の専門機関や団体等のネットワークを活用し、課題解決を進めよう。
(「できない」ではなく、「どうすればできるか」の視点を忘れずに)
- 「ふる」さのような 被災者の参画による自治的な組織をつくろう。
(避難生活は、生活再建の第一歩であることを忘れずに)

さすけなぶるの
5つの視点

この5つの視点を生かし、「ビッグパレットふくしま避難所」で実際に起こった問題をグループに分かれて検討し、解決に向けた取組みを発表しました。



今後は、講演や『さすけなぶる』でのシミュレーションで学んだことを踏まえながら、避難所の受入体制をさらに検討していくこととしています。

さすけなぶるの由来は？

サステナブル…持続的な
さすけない…「問題ない・大丈夫」を表す福島弁
を組み合わせた言葉で、みんなで問題を解決しながら避難所
とともに暮らす精神を表現しています。

モニタリングに関するお問合せはこちら

青森県環境生活部原子力安全対策課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL: 017-722-1111(代) 直通: 017-734-9252・9253

青森県原子力センター青森市駐在

〒030-8566 青森市東造道1-1-1(青森県環境保健センター内)
TEL: 017-736-5417(代)

青森県原子力センター

〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎400-1
TEL: 0175-74-2251(代)

青森県原子力センター東通村駐在

〒039-4292 東通村大字砂子又字沢内5-34(東通村役場内)
TEL: 0175-27-2111(代)(内線281)



編集・発行 青森県環境生活部原子力安全対策課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL: 017-734-9252
発行年月日 平成27年8月26日

このパンフレットは、広報・調査等交付金により作成したものです。この印刷物は71,600部作成し、経費(制作・印刷・配布)は、一部あたり30円です。



原子力環境だより

モニタリング つつしん あおもり

NO. 97
2015.8 SUMMER
平成26年度報

CONTENTS

- 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果①
- 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果……⑤
- リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング結果⑦
- 環境放射線等モニタリングのしくみ……⑧
- 東通原子力発電所温排水影響調査結果……⑨
- お知らせ～原子力災害避難対策検討会受入体制部会研修会を開催しました～⑩⑪



私のふるさと…
佐井村

仏ヶ浦

遊覧船の甲板に出ると見えてくるのは
自然が創った岩のアート「仏ヶ浦」。
国の天然記念物に指定されている景勝地です。
船旅はいつも胸が高鳴ります。



原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果

平成26年度(平成26年4月～平成27年3月)の調査結果



平成26年4月～平成27年3月の調査結果は、平成27年7月29日に開催された「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「概ねこれまでと同じ水準であった」と評価されました。

なお、一部の環境試料において、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により過去の測定値の範囲を上回ったものがありました。住民等の健康と安全に影響を与えるレベルではありません。



空間放射線

空間放射線

人間が体外から受ける空間放射線には、宇宙から降りそそいでくるもの(宇宙線)や、大地などからのものがあります。宇宙線の量は、緯度によって差がありますが、同じ場所であればほとんど変わりありません。また、大地などからの放射線の量は、地質の違いなど場所によって差があります。

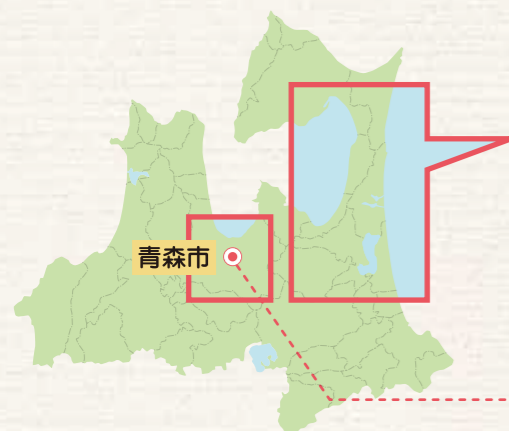
空間放射線は、同じ場所であっても、気象条件などによって変動し、特に、雨や雪が降ると一時的に高くなります。また、雪が積もっている冬の間は、大地からの放射線がさえぎられるため、平均的に低くなります。

空間放射線量率

1時間当たりの空間放射線量を表します。この調査で使用している測定器は、エネルギーの高い宇宙線を除くようにしているため、グラフに示している空間放射線量率は、主に大地などからの自然の放射線によるものです。

積算線量

RPLD(蛍光ガラス線量計)をモニタリングポイントに設置し、3か月間の空間放射線の積算量を測定しています。

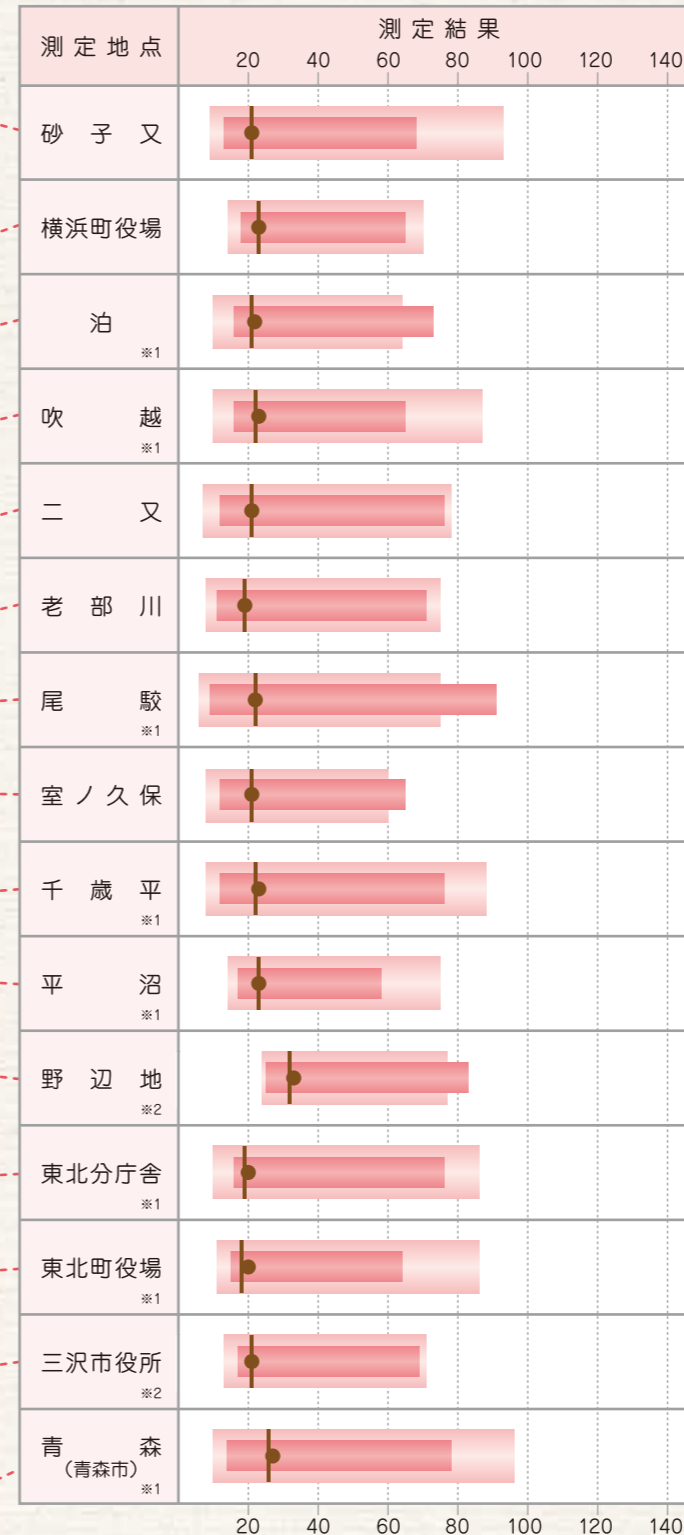


空間放射線等の測定地点図



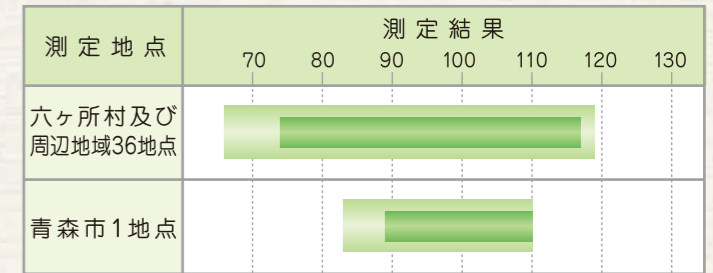
1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



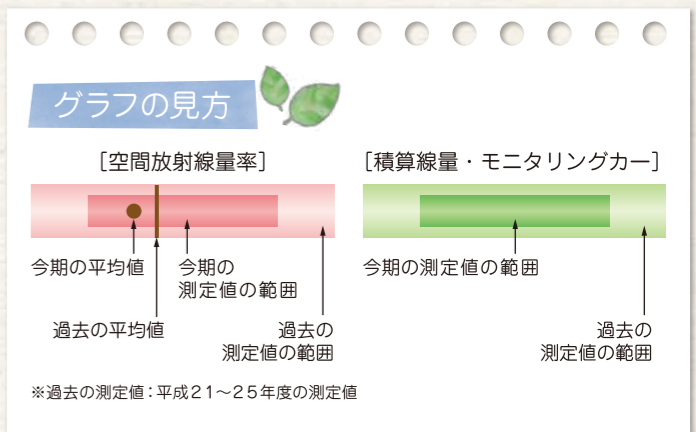
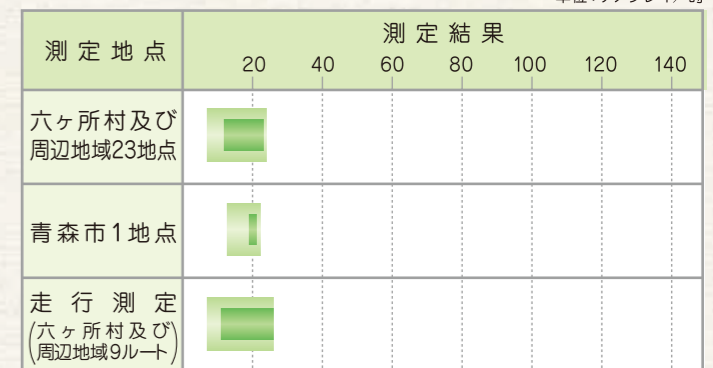
2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日



3 モニタリングカーによる空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



※1.平成22年度に測定器を更新したため、平成23～25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。
 ※2.平成24年1月に測定局舎等を移設したため、平成24～25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。

原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果

平成26年度(平成26年4月～平成27年3月)の調査結果

環境試料中の放射能

グラフの見方

① 大気浮遊じん(全アルファ放射能/全ベータ放射能)の場合

今期の測定値の範囲 平成25年度までの測定値の範囲※3
 検出限界※1以下の測定値は0として表示しています。
 ※1. 検出限界: 大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能については、測定条件(採取空気量等)が変動するため、計数誤差の3倍を検出限界として設定しています。

② その他の場合

平成25年度までの測定値の範囲※3
 定量下限値 今期の測定値の範囲
 定量下限値※2未満の測定値が含まれる場合、定量下限値未満の範囲をグラデーションで表示しています。
 ※2. 定量下限値: 測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・測定項目ごとに定めているものです。
 ※3. 平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響と考えられる測定値は除外しています。

ベクレル(Bq): 放射能

放射能は放射線を出す能力のことで、放射能を持つ物質を放射性物質といいます。放射能の強さは1秒間に壊変する原子核の数で表され、ベクレルという単位を用います。私たちの体にも放射性物質が含まれており、例えば、体重60kgの人の体には、炭素-14が約3000ベクレル存在します。

試料の種類	採取時期	記号	測定結果	単位
			0.0001 0.001 0.01 0.1 1 10 100 400	
青森市	大気浮遊じん	4, 7, 10, 1月	全アルファ放射能	ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-134	ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-137	ミリベクレル/立方メートル
			ストロンチウム-90	ミリベクレル/立方メートル
			プルトニウム	ミリベクレル/立方メートル
大気(水蒸気状)	毎月	4, 7, 10, 1月	トリチウム	ミリベクレル/立方メートル
			フッ素	マイクログラム/立方メートル
大気(気体状)	連続	4, 7, 10, 1月	ベータ放射能	キロボクレル/立方メートル
			ヨウ素-131	ミリベクレル/立方メートル
表土	7月	連続	フッ素	ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-134	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	ベクレル/キログラム乾
			ストロンチウム-90	ベクレル/キログラム乾
			ヨウ素-129	ベクレル/キログラム乾
			プルトニウム	ベクレル/キログラム乾
			アメリカシウム-241	ベクレル/キログラム乾
			キュリウム-244	ベクレル/キログラム乾
			ウラン	ベクレル/キログラム乾
			炭素-14	ベクレル/キログラム生
精米	収穫期1回	4, 7, 10, 1月	炭素-14	ベクレル/キログラム生
松葉	4, 10月	4, 7, 10, 1月	セシウム-134	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	ベクレル/キログラム生
			ウラン	ベクレル/キログラム生



試料の種類	採取時期	記号	測定結果	単位
			0.0001 0.001 0.01 0.1 1 10 100 400	
大気浮遊じん	4, 7, 10, 1月	大気(粒子状物質等)	全アルファ放射能	ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-134	ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-137	ミリベクレル/立方メートル
			ストロンチウム-90	ミリベクレル/立方メートル
			プルトニウム	ミリベクレル/立方メートル
大気(水蒸気状)	毎月	4, 7, 10, 1月	トリチウム	ミリベクレル/立方メートル
			フッ素	マイクログラム/立方メートル
大気(気体状)	連続	4, 7, 10, 1月	ベータ放射能	キロボクレル/立方メートル
			ヨウ素-131	ミリベクレル/立方メートル
降下物	毎月	雨	フッ素	ミリベクレル/立方メートル
			セシウム-134	ベクレル/平方メートル
			セシウム-137	ベクレル/平方メートル
			ストロンチウム-90	ベクレル/平方メートル
			プルトニウム	ベクレル/平方メートル
			ウラン	ベクレル/平方メートル
			トリチウム	ベクレル/リットル
			セシウム-134	ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	ミリベクレル/リットル
			ストロンチウム-90	ミリベクレル/リットル
陸水	7, 10月(河川水) 4, 7, 10, 12月(湖沼水) 4, 7, 10, 1月(水道水, 井戸水)	水	セシウム-134	ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	ミリベクレル/リットル
			トリチウム	ベクレル/リットル
			ストロンチウム-90	ミリベクレル/リットル
			ストロンチウム-90	ミリベクレル/リットル
			プルトニウム	ベクレル/リットル
			ウラン	ベクレル/リットル
			フッ素	ミリベクレル/リットル
			セシウム-134	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-134	ベクレル/キログラム乾
セシウム-137	ベクレル/キログラム乾			
セシウム-137	ベクレル/キログラム乾			
ストロンチウム-90	ベクレル/キログラム乾			
ヨウ素-129	ベクレル/キログラム乾			
プルトニウム	ベクレル/キログラム乾			
アメリカシウム-241	ベクレル/キログラム乾			
キュリウム-244	ベクレル/キログラム乾			
ウラン	ベクレル/キログラム乾			
フッ素	ミリグラム/キログラム生			
牛乳(原乳)	4, 7, 10, 1月	水	セシウム-134	ベクレル/リットル
			セシウム-137	ベクレル/リットル
			ストロンチウム-90	ミリグラム/リットル
精米	収穫期1回	水	セシウム-134	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	ベクレル/キログラム生
			炭素-14	ベクレル/キログラム生
野菜	収穫期1回	水	セシウム-134	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	ベクレル/キログラム生
			炭素-14	ベクレル/キログラム生
牧草・デントコーン	5, 8月(牧草) 収穫期1回(デントコーン)	水	セシウム-134	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	ミリグラム/キログラム生
淡水産生物	漁期1回 ワカサギ, シジミ	水	セシウム-134	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	ミリグラム/キログラム生
松葉	4, 10月	水	セシウム-134	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	ベクレル/キログラム生
海水	4, 7, 10, 1月	水	セシウム-134	ミリベクレル/リットル
			セシウム-137	ベクレル/リットル
			ストロンチウム-90	ミリベクレル/リットル
海底土	10月	水	セシウム-134	ベクレル/キログラム乾
			セシウム-137	ベクレル/キログラム乾
			ストロンチウム-90	ベクレル/キログラム乾
海産生物	漁期1回 (ヒラメ, イナダ, アジ, ヒラタケ, コノコノア, 4, 10月) (イガイ, ムササギ, コカイ)	水	セシウム-134	ベクレル/キログラム生
			セシウム-137	ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	ベクレル/キログラム生

※平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響と考えられる。

東通原子力発電所に係る 環境放射線モニタリング結果

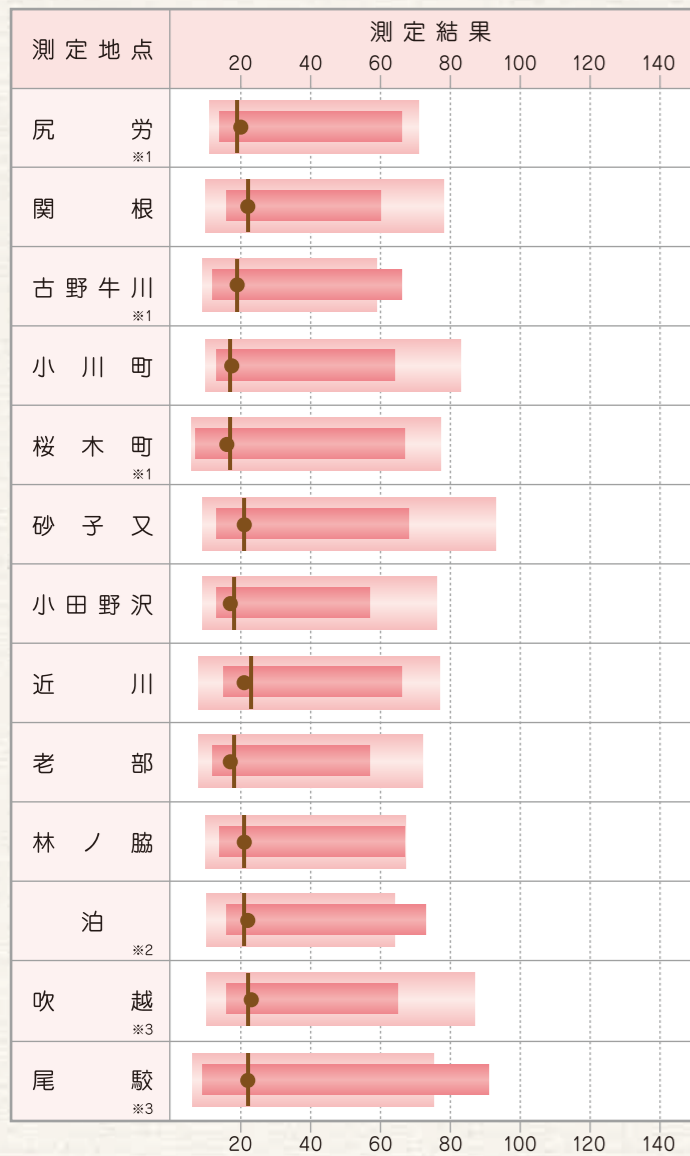
平成26年度(平成26年4月～平成27年3月)の調査結果



空間放射線

1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



※1 平成25年4月に測定を開始しました。
 ※2 平成22年度に測定器を更新したため、平成23～25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。
 ※3 測定地点を追加し、平成23～25年度の測定値を過去の測定値として記載しています。



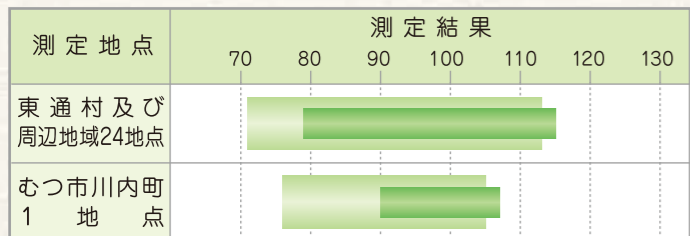
凡 例

区 分	県	事業者
モニタリングステーション及び積算線量計	●	■
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	■
積算線量計	●	●

●: 東北電力株式会社東通原子力発電所1号機排気筒

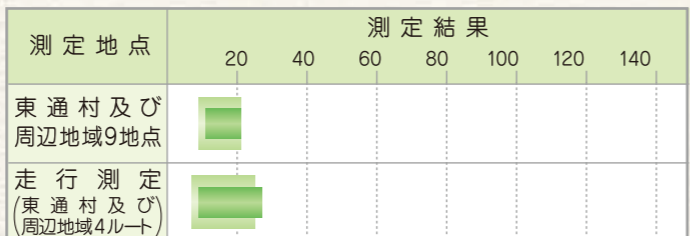
2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日



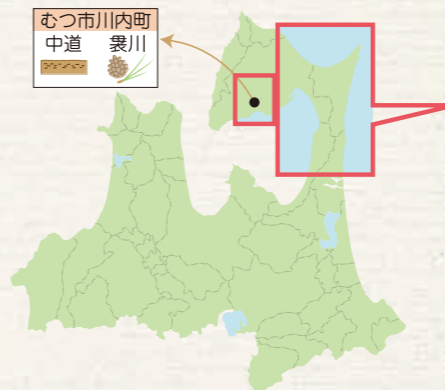
3 モニタリングカーによる空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



平成26年4月～平成27年3月の調査結果は、平成27年7月29日に開催された「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「概ねこれまでと同じ水準であった」と評価されました。

なお、一部の環境試料において、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により過去の測定値の範囲を上回ったものがありましたが、住民等の健康と安全に影響を与えるレベルではありません。



環境試料中の放射能



●: 東北電力株式会社東通原子力発電所1号機排気筒

試料の種類	採取時期	記号	測定結果						単位	
			0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10		
東通村及び周辺地域	大気浮遊じん	連続	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/立方メートル
	大気(気体状)	連続	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/立方メートル
	降下物	毎月	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/平方メートル
	陸水	4.10月(河川水) 4.7.10.1月(水道水) 7.1月(井戸水)	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/リットル
	表土	7月	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム乾
	精米	収穫期1回	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム生
	野菜	収穫期1回 (ハレタマゴ、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、アブラナ)	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム生
	牛乳(原乳)	4.7.10.1月	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/リットル
	牛肉	1月	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム生
	牧草	収穫期2回	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム生
	松葉	5.11月	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム生
	海水	4.7.10.1月	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/リットル
	海底土	7月	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム乾
	海産生物	漁期1回 (ヒラメ、カレイ、ウスメバルコウソウ、アイナメ、ホタテ、アサギ、コンブ、タコ、ウニ、4.10月(チガイ)、7.1月(ムラサキガイ))	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム生
	むつ市川内町	表土	7月	●	●	●	●	●	●	●
松葉		5.11月	●	●	●	●	●	●	●	ベクレル/キログラム生

※平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響と考えられる。

リサイクル燃料備蓄センターに係る 環境放射線モニタリング結果

平成26年度(平成26年4月～平成27年3月)の調査結果

空間放射線

むつ市において、現在リサイクル燃料貯蔵株式会社により「リサイクル燃料備蓄センター」の建設工事が行われています。県及びリサイクル燃料貯蔵株式会社では、平成20年度から同センターに係る環境放射線の事前調査を実施しています。

1 空間放射線量率

単位:ナノグレイ/時

測定地点	測定結果						
	20	40	60	80	100	120	140
関根	[Bar chart showing values between 20 and 40]						
美付	[Bar chart showing values between 20 and 40]						

※美付は平成22年度第3四半期から調査を開始しました。

2 積算線量

単位:マイクログレイ/91日

測定地点	測定結果						
	70	80	90	100	110	120	130
むつ市及び周辺地域7地点	[Bar chart showing values between 70 and 100]						
むつ市川内町1地点	[Bar chart showing values between 70 and 100]						

3 環境試料中の放射能

試料の種類	採取時期	記号	測定結果	測定結果							単位		
				0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	100		400	
東むつ市及び東通村	表	土	7月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム乾
					セシウム-137	[Bar chart]							
松	葉	5.11月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生	
				セシウム-137	[Bar chart]								
川むつ内町	表	土	7月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム乾
					セシウム-137	[Bar chart]							
松	葉	5.11月	[Icon]	セシウム-134	[Bar chart]							ベクレル/キログラム生	
				セシウム-137	[Bar chart]								

★グラフの見方は、空間放射線はp.2、環境試料中の放射能はp.3をご覧ください。

グレイ(Gy): 吸収線量

いろいろな物質に放射線があたるとき、吸収される放射線量を数値に表したものです。

シーベルト(Sv): 実効線量

放射線や放射能の身体への影響を数値に表したものです。私たちは、自然界から年間平均2.4mSv(ミリシーベルト)の放射線量を浴びています。その他、人工的に浴びる放射線量の一年間の限度は1mSvとされています。

1Gy (グレイ) = 1,000mGy (ミリグレイ)
= 100万μGy (マイクログレイ)
= 10億nGy (ナノグレイ)

1Sv (シーベルト) = 1,000mSv (ミリシーベルト)
= 100万μSv (マイクロシーベルト)
= 10億nSv (ナノシーベルト)



環境放射線等 モニタリングのしくみ

県では、皆さんの健康と安全を守るため、施設から環境への影響をチェックしています。

六ヶ所原子燃料サイクル施設

東通原子力発電所

むつリサイクル燃料備蓄センター

1 監視測定



原子力センター

県では、こちらの施設で県内の原子力関連施設から環境に影響があるかどうか常時チェックしています。



環境試料中の放射能の測定

水、土、農畜産物、海産物などの環境試料中の放射能を測定します。

1 前処理



2 乾燥・灰化



3 測定・解析



空間放射線の測定

原子力施設周辺の空間放射線量率を測定し、公表しています。

●モニタリングステーション



●モニタリングカー



(連続測定)

リアルタイムデータの表示

- 青森県庁、原子力センター
- 東通村役場、むつ市役所、横浜町役場、三沢市役所
- 六ヶ所村泊地区ふれあいセンター
- 六ヶ所村文化交流プラザ(スワニー)
- 野辺地町観光物産PRセンター
- 東北町コミュニティセンター



2 データの評価・確認

青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議

- 学識経験者
- 立地市村・周辺市町村の長
- 関係団体の長
- 知事以下県職員など



3 データの公表

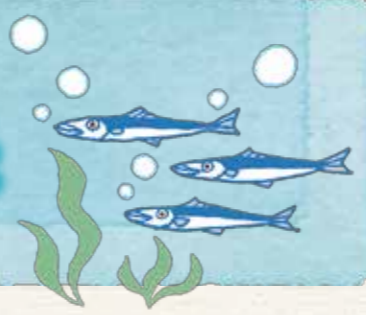
広報誌「モニタリングつうしんあおもり」

ラジオ・新聞広告

ホームページ「青森県の原子力安全対策」HPアドレス → <http://www.aomori-genshiryoku.com/>

東通原子力発電所 温排水影響調査結果

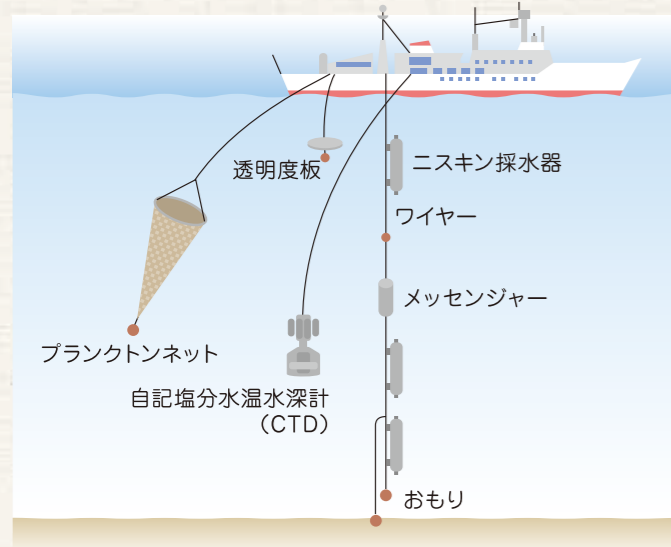
平成26年度第4四半期(平成27年1月～3月)の調査結果



青森県と東北電力株式会社は、東通原子力発電所の温排水が、施設前面海域及び周辺海域に与える影響を把握するため調査を実施しています。

水温・塩分

35調査地点において水温、塩分の測定を行った結果、表層の水温は、1.8～6.9℃、塩分は32.7～33.8の範囲でした。



流況

2調査地点において流向、流速の測定を行った結果、北～北東及び南～南南西に向かう流れが卓越し、流速は30cm/sまでが大部分でした。

海藻草類・底生生物

4調査線において分布状況を調査した結果、サビ亜科等60種の海藻草類と、キンコ科等6種の底生生物(平均個体数9個体/㎡)が確認されました。

クロロフィルa

2調査地点において植物プランクトンの量の指標となるクロロフィルa量を測定した結果、0.6～2.9μg/Lの範囲でした。

卵・稚仔、プランクトン

8調査地点において魚類の卵、稚仔の出現状況を調査した結果、スケトウダラの卵の出現が確認されました。また、スケトウダラ、タウエガシ科、ホッケ及びイカナゴの稚仔の分布が確認されました。

8調査地点において動物プランクトン、6調査地点において植物プランクトンの出現状況を調査した結果、主として節足動物プランクトン及び黄色植物プランクトンの分布が確認されました。



水質

8調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単位	測定結果
水素イオン濃度(pH)	—	8.0
化学的酸素要求量(COD)		
酸性法	mg/ℓ	0.2～1.1
アルカリ性法	mg/ℓ	0.3～0.5
溶存酸素量(DO)	mg/ℓ	9.8～10.2
透明度	m	10.5～15.2
浮遊物質(SS)	mg/ℓ	定量下限値未満～2
全窒素(T-N)	mg/ℓ	0.18～0.24
全リン(T-P)	mg/ℓ	0.021～0.025

底質

3調査地点における測定結果は表のとおりでした。

測定項目	単位	測定結果
化学的酸素要求量(COD)	mg/g 乾泥	0.3～1.2
強熱減量(IL)	%	1.8～4.4
全硫化物(T-S)	mg/g 乾泥	定量下限値未満

東通原子力発電所温排水影響調査に関するお問合せ先は、右記の機関です。

青森県農林水産部水産局水産振興課

〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL:017-722-1111(代)(内4113) 直通:017-734-9592

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所

〒039-3381 東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10 TEL:017-755-2155

お知らせ 原子力災害避難対策検討会 受入体制部会研修会を 開催しました

県では、平成26年度に原子力災害避難対策検討会を設置し、移動対策、情報連絡体制、避難住民の受入対策など、広域避難に係る課題を検討しています。

今年2月に開催した原子力災害避難対策検討会において、避難住民の受入体制については、避難所の収容人数を確認し、避難所の開設・運営に必要な要員や資機材等を整理することとしました。

受入体制の検討にあたり、避難所で実際に起こりうる課題や状況等について理解することが必要であると考え、6月2日に「原子力災害時における安全・安心な避難所づくりを目指して」と題して、県や関係市町村の職員を対象に研修会を開催しました。

**講演 「東日本大震災でふくしまに起こったこと
—大規模避難所運営の実際—」**

講師 福島大学つくしまふくしま未来支援センター客員准教授
みんぱくネット(特定非営利活動法人3.11被災者を支援するいわき連絡協議会)総括

天野 和彦 氏

避難所で実際に起こりうる課題等を理解するため、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故に際し、約2,500人の被災者を受け入れた福島県郡山市にある「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わった天野和彦氏をお招きし、御講演いただきました。

避難者名簿の作成や衛生面の改善から始まり、「交流の場の提供と自治活動の促進」を軸とした「おだがいさまセンター(生活支援ボランティアセンター)」を開設し、天ぷらパーティーや夏祭りなど、自治と交流を守りコミュニティを形成するためのさまざまな取組みを紹介していただきました。「生命を守る活動」だけでなく、「生きがいと居場所づくりの活動」の大切さを改めて学ぶ機会となりました。



空間放射線量率等の測定結果はこちらから確認できます。

パソコン用ホームページ <http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/atom1>

携帯電話用ホームページ <http://gensiryoku.pref.aomori.lg.jp/atom1/m/index.cgi>